

令和7年度 シラバス

授業科目	地域ブランディング		単位／時間	186
開講学科等	総合研究科		担当教員	中平順子
授業の目的・テーマ	地域の問題をデザインの力で解決するためのノウハウを実践を通して学習する。			
授業の到達目標	・ 地域の問題にも目を向けることができるようになる。 ・ 外部との関わり合いでコミュニケーション能力を高めることができる。 ・ デザインの力で地域の活性化が可能かどうかを探る力を身につける。			
授業の計画	1	地域ブランディング導入	26	
	2	岸本地区集落活動センター 企画	27	
	3	取材 1 オリエンテーション	28	
	4	提案書制作	29	
	5	取材 2	30	
	6	ホームページ企画立案	31	↓
	7	取材 3	32	
	8	ホームページ企画	33	
	9	取材4 撮影	34	
	10	土佐風企画	35	
	11		36	
	12		37	
	13		38	
	14		39	
	15		40	
	16		41	
	17		42	
	18		43	
	19		44	
	20	高知大教育学部特別支援学校コラボ企画	45	
	21		46	
	22		47	
	23		48	
	24		49	
	25		50	
授業の方法	実習形式			
テキスト/参考文献				
評価の方法や基準	授業態度 (10) 出席率 (10) 課題成果物 (80)			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○
実務経験	● 県内情報誌にて連載経験あり ● 様々な印刷物のデザインとイラスト担当の経験あり ● ロゴマークやキャラクター制作経験あり			
実務経験の活かし方	経験談や、成果物を見せながら授業をすることができる。教科書には掲載されていないノウハウの伝授なども行う。			
履修上の注意事項				

令和7年度 シラバス

授業科目	D T P 実習		単位／時間	198
開講学科等	総合研究科		担当教員	桑名
授業の目的・テーマ	様々な媒体の印刷物のデザインを行う。同じビジュアルでも媒体によって調整や再レイアウトが必要になることを実習を通して学習する。特殊印刷についても学習する。			
授業の到達目標	●媒体に合わせたデザインやレイアウトが行えるようになる。 ●特殊印刷について理解し、入稿データを制作できるようになる。			
授業の計画	1	よさこいロゴ、県展ポスター制作	26	特殊印刷について学ぶ 2
	2	↓	27	デザイン制作
	3	↓	28	↓
	4	商品企画&広告展開導入	29	↓
	5	市場調査	30	データ制作
	6	企画アイデア出し	31	↓
	7	↓	32	↓
	8	企画書制作	33	↓
	9	パッケージ制作	34	↓
	10	↓	35	↓
	11	↓	36	↓
	12	広告展開	37	↓
	13	↓	38	↓
	14	↓	39	↓
	15	県展制作	40	↓
	16	↓	41	↓
	17	↓	42	↓
	18	↓	43	↓
	19	特殊印刷について学ぶ 1	44	↓
	20	デザイン制作	45	↓
	21	↓	46	↓
	22	↓	47	↓
	23	データ制作	48	↓
	24	↓	49	↓
	25	↓	50	↓
授業の方法	実習形式			
テキスト/参考文献				
評価の方法や基準	出席率（10） 授業態度（10） 実習・実技評価（80）			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○
実務経験	有限会社イーストクリエイツにてグラフィックデザイナーとして7年間勤務定期的にロゴ・広告制作などを行っている			
実務経験の活かし方	フリーのカメラマンとして活動する中で、求められることやどうやって仕事を成立させてきたかなど、伝えつつ、「広告の中の写真」のもつ役割を、一緒に考えていけば。			
履修上の注意事項				

令和7年度 シラバス

授業科目		研究実習		単位／時間	204 h
開講学科等		総合研究科		担当教員	中平順子
授業の目的・テーマ		自分が追求したいことやさらに高度な技術や知識を身につけるために、個々がテーマを決めそのテーマに沿った作品制作や制作研究を行う。			
授業の到達目標		●より高度な作品制作を行えるようになる。			
授業 の 計 画	1	4/18火	ヒアリングとテーマ決定	26	11/21火
	2	4/25火	↓	27	11/28火
	3	5/2火	作品制作・研究制作	28	12/5火
	4	5/9火		29	12/19火
	5	5/17水		30	1/9火
	6	5/23火		31	1/16火
	7	5/30火		32	1/23火
	8	6/6火		33	1/30火
	9	6/13火		34	2/6火 発表
	10	6/20火		35	
	11	6/27火		36	
	12	7/4火		37	
	13	7/11火		38	
	14	7/18火		39	
	15	9/5火		40	
	16	9/12火		41	
	17	9/19火		42	
	18	9/26火		43	
	19	10/3火		44	
	20	10/10火		45	
	21	10/17火		46	
	22	10/24火		47	
	23	10/31火		48	
	24	11/7火		49	
	25	11/14火	↓	50	
授業の方法		実習形式			
テキスト/参考文献					
評価の方法や基準		出席率（10％）授業態度（10％）課題（80％）			
実務経験		●県内情報誌にて連載経験あり ●様々な印刷物のデザインとイラスト担当の経験あり ●ロゴマークやキャラクター制作経験あり			
実務経験の活かし方		ニーズに合わせたイラストレーションの制作の仕方や、効果的なイラストレーションについて、経験談や、成果物を見せながら授業をすることができる。教科書には掲載されていないノウハウの伝授なども行う。			
履修上の注意事項					

令和7年度 シラバス

授業科目		卒業制作				単位／時間		378	
開講学科等		総合研究科				担当教員		中平 順子	
授業の目的・テーマ		2年間、そして本科在籍中の1年間の集大成としての作品を制作する。							
授業の到達目標		●目的に合ったグラフィックデザインを展開する。 ●印刷を前提としたグラフィックデザインだけではなくモーショングラフィックを活用した展開も試みる。							
授業の計画	1			卒業制作企画導入・資料収集	26				
	2			企画アイデア出し	27				
	3				28				
	4				29				
	5				30				
	6			↓	31				
	7			企画書制作	32				
	8				33				
	9				34				
	10				35				
	11				36				
	12				37			プレゼン	
	13				38				
	14				39				
	15				40				
	16			↓	41				
	17			実制作	42				
	18				43				
	19				44				
	20				45				
	21				46				
	22				47				
	23				48				
	24				49				
	25			↓	50				
授業の方法		実習形式							
テキスト/参考文献									
評価の方法や基準		授業態度（10）出席率（10）課題成果物（80）							
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する									○
実務経験		●県内情報誌にて連載経験あり ●様々な印刷物のデザインとイラスト担当の経験あり ●ロゴマークやキャラクター制作経験あり							
実務経験の活かし方		経験談や、成果物を見せながら授業をすることができる。教科書には掲載されていないノウハウの伝授なども行う。							
履修上の注意事項									

令和 7 年度 シラバス

授業科目	コミックワーク（選択）	単位／時間	前期：390h 後期：576h
開講学科等	総合研究科 1年	担当教員	安岡 貴広
授業の目的・テーマ	・今までに学んだ技術の応用テクニックを講義・実習を通して習得させる。 ・出版社への投稿・持ち込みを想定した原稿を完成させる。 ・基礎技術が不安な学生への個別指導を重点的に行う。		
授業の到達目標	・『まんが甲子園』までに作品を1作完成させる。 ・マンガ投稿サイト（マガジンデビュー）に作品をUPする。（任意）		
授業 の 計 画	1	作品制作（企画・プロット）	26 卒業制作
	2	講義（作品制作で大事なこと）	27 卒業制作
	3	作品制作（ネーム）	28
	4	講義（作画動画視聴）/作品制作（ネーム）	29
	5	作品制作（ネーム）	30
	6	作品制作（下描き）	31
	7	作品制作（下描き）	32
	8	作品制作（下描き）	33
	9	作品制作（下描き）/作画動画視聴	34
	10	作品制作（ペン入れ）/講義と課題	35
	11	作品制作（ペン入れ）/講義と課題	36
	12	作品制作（ペン入れ）/講義と課題	37
	13	作品制作（仕上げ）	38
	14	作品制作（仕上げ）	39
	15	講義（作画動画視聴）/作品制作（ネーム）	40
	16	作品制作（ネーム）	41
	17	作品制作（下描き）	42
	18	作品制作（下描き）	43
	19	作品制作（下描き）	44
	20	作品制作（下描き）/作画動画視聴	45
	21	作品制作（ペン入れ）/講義と課題	46
	22	作品制作（ペン入れ）/講義と課題	47
	23	卒業制作	48
	24	卒業制作	49
	25	卒業制作	50
授業の方法	検定対策は過去問題を反復させる。講義系はTVモニターを使用する。		
テキスト/参考文献	「漫画家アシスタント検定」の過去問題・オリジナルテキスト		
評価の方法や基準	作品完成度（50％）独創性（50％）		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○
実務経験	漫画家		
実務経験の活かし方	実務での経験を学生個々の力量に合わせて指導していく。		
履修上の注意事項	・オリジナル作品は最低ネームが完成すること。 ・検定対策は正しい問題の読み取りと作画が行えること。		